

町民の声

希望の創生

昌農内 中田 修慈

この時期になると思っているのが、故郷の愛南町の風景である。

学生だった私は、休日になると自分の部屋に寝転がって、周り一面の紫色のレンゲ草でいっぱい田んぼと、青い空を眺めていたものであった。

天高く雲雀(ひばり)の鳴き声がかきこえてくる。暫くすると鳴き声が止

み田んぼに急降下・・・。そんな情景を眺めながら春の日差しの中、日向ぼっこをするのが大好きであった。

現在の私の家のすぐ近くに、大型ショッピングモールができてからもう十年たっただろうか。

エミフル松前とは、よく名付けたものだ。このショッピングモ

ル計画時、水族館も入れる構想もあったそうだ。その後計画はどうなったのだろうか。

おそらく、どこかで断ち切れたのだろう。松前町は南予に比べると松山に近く、少子高齢

化の問題は比較的恵まれているようだ。しかし、日本国中の人口減少問題に無関係な

地域は存在しない。最近、仕事の関係から、南予の高校で地方創生に

携わる機会があった。そこで、感じたことは、その地域に住み愛着を

持つて守り支えてこられた人々と、そこで育ちゆく健全で斬新なアイディア

を持った若者のコラボレーションで「希望の創生」を醸成することが大切

なことではないかということであった。

見苦しい議員同士の潰し合いはやめにして、14名の議員がいろいろな立場

から税金がいかに無駄なく、効率的に、公正に使用されているか、これを

チェックし精査することに力を注ぎこんでほしい。そして我々も、選んだ

14名の議員は町のためになっているのか、これで良かったのか、一人ひとりが積極的に傍聴するこ

とが義務であると思う。



傍聴席

何人も襟を直し

議場へ

池内 直人

傍聴券を手に入れた議場2階の傍聴席に入ると、凛とした空気が流れる。何度きても身の引き締まる思いである。議員13名の背中を見ながら前に目を向けると、議長を中心に理事者がこちらを向いて

座っている。隅々まですべてがよく見える。この雰囲気は、自宅のパソコンでライブ中継を視聴することでは味わうことができないものである。

今日の一般質問の内容はさておいて、私が普段から感じていた議員の品格とは何か、どのような議員を望んでいるのか。

ただ、言えることは、以下のとおり。議員が粛々と質問し、理事者がたんと答えること。こう

いった光景を決して望んではない。時には小さな野次もあるだろう。大いに激論もいと思う。

しかし、内容ではなく、最終的には人対人、グループ間の争いである。争うことが町のためになるのなら大いに結構。だけど、場所と言葉ぐらいいは選ぶべきである。

地方議員といえども公職に就く身である。もう

見苦しい議員同士の潰し合いはやめにして、14名の議員がいろいろな立場から税金がいかに無駄なく、効率的に、公正に使用されているか、これを

チェックし精査することに力を注ぎこんでほしい。そして我々も、選んだ

14名の議員は町のためになっているのか、これで良かったのか、一人ひとりが積極的に傍聴するこ

とが義務であると思う。

「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。

投書多数の場合は、委員会でご掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず

お名前・ご住所・ご連絡先

先絡・ペンネーム(希望する場合)をお書き

ください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会

「町民の声」
Fax 985-4148

E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(次回は6月中旬からの予定です。)

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。

また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。

